

視点(1700)

檄文：浜田博士と横田夫婦にノーベル賞を！！

(檄文・日本再生物語)

私は、2人の日本人にノーベル賞を受賞してほしいと思っています。1人は浜田宏一氏（イエール大学名誉教授）にノーベル経済学賞を、もう1人（2人）は横田夫婦（北朝鮮に拉致された横田めぐみさんの両親）にノーベル平和賞です。博士号は、固有の研究結果で授与されますが、ノーベル賞は、世の中のために貢献する成果がなければ授与されません。では、何故に浜田博士と横田夫婦にノーベル賞を授与して欲しいのか！！ノーベル賞に値する成果とは何か！！を解説します。

（1）浜田博士にノーベル経済学賞を！！

浜田博士は、イエール大学名誉教授で、ノーベル経済学賞に最も近いと言われている経済学者です。国際金融に関するゲーム理論の応用で世界的な業績を上げています。日本のバブル崩壊後の経済停滞については金融政策の失策がその大きな要因と主張されています。

今後、自民党の安倍政権の「脱デフレ」の経済ブレーンとして参画し、浜田博士の金融理論は日本再生の第1ステップとして適用されます。

浜田博士が経済学の学者としての学問的評価は、ノーベル賞に到達している高レベルの評価ですが、ノーベル賞を授与されるためには「成果」が必要です。安倍政権は、経済再生（日本再生）の第一を浜田博士の金融理論を用い脱デフレ戦略を掲げています。まさに、浜田博士の理論を実践の場に応用し、日本経済の再生を目指すことをスタートとし、日本政府ならびに日銀もその方向に進んでいます。

日本が脱デフレにより、近未来に日本経済の再生（今後は毎年3.5%のGDPの成長とニューモダン消費経済体制づくり）ができると、これは浜田博士の経済理論が日本経済を再生させたこととなります。それにより、浜田博士の理論と実践が一致し、大きな成果を生んだこととなります。まさに、浜田博士はノーベル経済学賞を得る立場になります。そのためには、日本経済がデフレを脱出して、世界が羨む国家に再生（Japan as No.1）しなければなりません。

（2）横田夫婦にノーベル平和賞を！！

横田夫婦は、北朝鮮に拉致された横田めぐみさんの両親です。日本の主権が及ぶ国土で娘さんが拉致され、我々日本人及び日本政府はいまだに救出することができていません。テレビで悲愴な思いで拉致問題の解決と娘さんの救出を訴えている姿に国民は感動します。ぜひ横田夫婦のご存命のうちに、めぐみさんを救出することは、我々日本国民としての役割です。日本政府は、何が何でも拉致問題を解決すべきです。問題は解決方法です。単に経済援助の見返りに拉致被害者を帰してもらおうのでは能がありません。今、北朝鮮は長距離ロケットや原子爆弾を持ち、世界と日本の平和を崩そうとしています。できうるならば、日本政府が主導権をもって北朝鮮指導者と交渉し、北朝鮮を平和国家に導く手法をとり、日本と北朝鮮は友好平和条約と対北朝鮮援助により、北朝鮮が平和で豊かな国への道を歩むことができ、拉致問題は解決し、平和国家となり、国民は餓えから解放され、豊かな生活ができる国が可能となります。北朝鮮の指導者達がこの考え方にどうするかは別として、私は「北朝鮮の指導者は何を考えてあのような行動をする国家となっているのか」が理解できません。北朝鮮の指導者も常識（もしかしたら常識がないかも）があれば、北朝鮮の指導者や国民は今の体制は、おかしいと感じているはずです。もし、以上のように北朝鮮が平和国家へ進むならば、日本の平和のみならず世界の平和のためにもものすごい貢献をしたこととなります。これは、ひとえに横田夫婦の娘さんを思う執念から起きています。この執念は、世界の平和及び北朝鮮の国民を救ったという大きな成果があることとなります。ぜひ横田夫婦にノーベル平和賞を授与してほしい状況を日本政府はつくるべきです。それこそが、日本の主権の中では拉致され、それを取り返すことができなかつた拉致被害者に対する日本国民としてのせめてものお詫びです。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代表 六 軍 秀 之